

東京生まれ。高校3年間を茅野市で過ごす。弘前の山田千里師に入門し、1981年、師範「山田里通」の名を許され帰京。82、83年と全国津軽三味線競技会でA級優勝し、その後、サクソ奏者・坂田明、前衛音楽家・ジョン・ゾーン、フォークンガー・三上寛といった異ジャンルのアーティストたちと精力的なコラボレーションをみせる。85年、ジョン・ゾーンとレコーディングしたアルバム「巖流島」をニューヨークで発表。欧米でのジャズ・フェスティバルや舞踏家・大野一雄のニューヨーク公演にも参加。91年、国際交流基金の助成によりニューヨークなど数ヶ所での公演を行う。2000年以降は東欧、オーストラリアなどでも公演。年間80本以上のステージをこなしながら、津軽三味線の可能性を拡大すると同時に模索を続けている。

<http://www.tsugaru-michihiro.com/>

佐藤通弘

Michihiro Sato
津軽三味線

電光石火 身体音楽スル

って、どんなライブ!?

伝統を究めながらも津軽三味線界の異端児であり続ける佐藤通弘。フリー・ジャズからポピュラー・シーンまで、自在に跋扈する梅津和時。そんな2人による異色の競演は、まるで電光石火(=稲妻や火打ち石が発する閃光)のような衝撃。東西の楽器から発せられる極限に突きつめられた音楽と、それと同化し躍動する音楽家たちの身体は、しびれるほどに伝統的で前衛的。

万華鏡(=kaleidoscope)のように刻一刻と変容する音の世界、丁々発止のスリルに満ちたその瞬間をお見逃しなく!

国立音楽大学在学中よりプロの音楽家として活躍。フリー・ジャズを中心に、ジャンルの垣根を越えた音楽活動を展開。1970年代後半に「生活上委員会」、80年代には「ドクトル梅津バンド」にて人気を不動となす。自己のバンド活動と並行し、忌野清志郎が在籍した「RCサクセッション」のサポートや映画音楽なども手がける。海外での演奏活動も活発に行ない、リード楽器を自在に操る稀有な即興音楽家として高く評価されている。現在は「こまっちゃクレズマ」「新大久保ジェントルメン」など数グループを率い、ライブ活動を精力的に行なう。99年に鬼怒無月、早川岳晴、新井田耕三と結成した「Dr.UMEZU“KIKI”BAND」では骨太で斬新な音楽に注目が集まっている。多様多彩な音楽との出会いを軸に、音楽的好奇心の赴くまま、しなやかに邁進中である。

<http://www.k3.dion.ne.jp/~u-shi/>

梅津和時

Kazutoki Umezu
サクソ、クラリネット

吉見征樹 Masaki Yoshimi タブラ



1987年よりインド・ムンバイにてウスタッド・アラ・ラカ・カーン氏と、その息子ザキール・フセイン氏にタブラを師事。即興演奏を得意とし、どのようなセッションにおいても自在に絡み付くその演奏は、太鼓でありながらメロディアスで、国内外のあらゆるジャンルのアーティストと共演をこなす貴重な存在である。2000年に「Spanish Connection」を結成し、フラメンコやジプシー音楽のエッセンスを吸収した濃厚な音楽が注目されている。同グループは09年にNHK教育テレビで放送された「新・三銃士」の劇中音楽を全編担当した。

<http://sound.jp/tablin/>

佐藤通芳 Michiyoshi Sato 津軽三味線



佐藤通弘を父とし、箏奏者・海寶幸子を母として、和楽器の音色を聞きながら育つという恵まれた環境の中、11歳から本格的に津軽三味線を習い始める。2005年、津軽三味線に加えギターや電子楽器といった現代的要素も兼ね備えた「寿BAND」を結成。指導者と同じ弾き方・音色でなければならぬといわれる伝統音楽の中で、従来の津軽三味線の伝統にとらわれず、新たな感性で無二の音楽世界を生み出している。09年、第6回津軽三味線全国大会 in KOBE、一般の部で優勝。

<http://www.tsugaru-michihiro.com/michiyoshi/index.html>

もっと自由にミュージッキング! 梅津和時の即興ワークショップ

好きな音をつかって、自分のなかにある音、リズム、メロディーを即興で表現しよう!
即興とは、瞬時に音を組み立て、同時に音を奏でる創造的な演奏方法です。
即興というミュージッキング(: musicking 音楽すること)をとおして、
身体が音とひとつになる快感や表現する楽しさ、音楽との自由な関わり方を体験しませんか。

2011年12月16日 [金] 19:00- 茅野市民館アトリエ

講師: 梅津和時 対象: 20名程度(小学生以上)

持ち物: 楽器もしくは音の出るもの(例: お鍋、空き缶、手作り楽器、自分の声など、ご自身が楽器だと思ふもの)

参加費: 無料 募集締切: 12月5日 [月]

申込方法: 電話、FAX、または茅野市民館事務室にて「氏名・年齢・住所・お電話番号・FAX番号・使用する楽器もしくは音の出るもの」をお知らせください。

※応募者多数の場合は抽選となります。※9歳以下のお子様は大人の方とご参加ください。

※高校生以下は保護者の同意書が必要です。※応募者全員に参加の可否について通知いたします。

申込先

茅野市民館

「梅津和時ワークショップ係」まで 391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号

開館時間: 午前9時~午後10時 休館日: 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は、その直後の休日でない日)

Tel: 0266-82-8222 Fax: 0266-82-8223



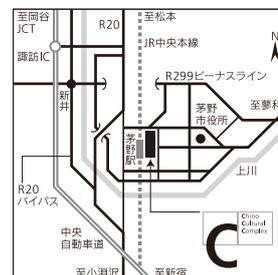
CCC kaleidoscope

CCC kaleidoscopeとは

ジャンルを越えて、人々を魅了する優れたアーティストを取り上げるシリーズ企画です。カレイドスコープ(kaleidoscope=万華鏡)をのぞいたときのように、その瞬間、そこできしか出会えないアートの“輝き”を茅野市民館(CCC: Chino Cultural Complex)から発信します。

茅野市民館

<http://www.chinoshiminkan.jp/>
391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号
Tel: 0266-82-8222 Fax: 0266-82-8223



■JR中央本線・茅野駅下車、東口直結
■中央自動車道・諏訪ICより車で約12分

きてみて発見!